

チャイルドシート前面衝突安全性能試験方法の一部改正について

1. 改正趣旨

平成 23 年度チャイルドシートアセスメント試験の前面衝突試験において選定された CRS の製作者より、レッグサポートを最長に伸ばした状態においてもフロアに届かない旨申告があり、前面衝突試験の実施方法について CRS 技術検討 WG でメール審議を行い、フロアを上げて行った。

レッグサポートを最長に伸ばした状態においてもフロアに届かない際の取扱いを明確にするため、チャイルドシート前面衝突安全性能試験方法の改正を行うこととした。

2. 改正の概要

レッグサポート機能を有するチャイルドシートであって、製作者等が定めるレッグサポート最大調整長さ（以下、「メーカー最大設計値」という。）において当該チャイルドシートを適切にセットすることが出来ない場合には、メーカー最大設計値における測定基準点からカーペット上面までの距離にカーペット上面を調整することができる旨の改正を行うこととする。

3. 改正の詳細

テストシートの状態において、「レッグサポート機能を有するチャイルドシートであって、制作者等が定めるレッグサポート最大調整長さ（以下、「メーカー最大設計値」という）において当該チャイルドシートを適切にセットすることが出来ない場合には、カーペット上面から測定基準点までの高さがメーカー最大設計値となるようカーペット上面の位置を調整することができる」こととする。[\(3.2.1 関係\)](#)

新（案）	旧
<p data-bbox="288 173 972 204"><u>平成24年度</u> チャイルドシート前面衝突安全性能試験方法</p> <p data-bbox="132 269 293 300">1. ～ 2. (略)</p> <p data-bbox="132 368 344 399">3.2 テストシート</p> <p data-bbox="132 416 454 446">3.2.1 テストシートの状態</p> <p data-bbox="165 464 1128 590">ECE 規則第 44 号 04 改訂版附則 6 の 3. で規定するシートを用いる。この場合において、フロアには厚さの合計が 20mm 程度となるカーペットとフェルトを張り、カーペット上面から測定基準点までの高さを 280±5 mm とすること (図 3)。</p> <p data-bbox="165 608 1128 829">この場合において、レッグサポート機能を有するチャイルドシートであって、製作者等が定めるレッグサポート最大調整長さ (以下、「メーカー最大設計値」という。) において当該チャイルドシートを適切にセットすることが出来ない場合には、カーペット上面から測定基準点までの高さがメーカー最大設計値となるようカーペット上面の位置を調整することができる。</p> <p data-bbox="165 847 1128 925">テストシートに用いるシートクッションは、別表 4 の規定に基づき検定を行なうものとする。</p> <p data-bbox="132 994 253 1024">以下 (略)</p>	<p data-bbox="1308 173 1991 204"><u>平成23年度</u> チャイルドシート前面衝突安全性能試験方法</p> <p data-bbox="1155 269 1317 300">1. ～ 2. (略)</p> <p data-bbox="1155 368 1368 399">3.2 テストシート</p> <p data-bbox="1155 416 1478 446">3.2.1 テストシートの状態</p> <p data-bbox="1189 464 2159 590">ECE 規則第 44 号 04 改訂版附則 6 の 3. で規定するシートを用いる。この場合において、フロアには厚さの合計が 20mm 程度となるカーペットとフェルトを張り、カーペット上面から測定基準点までの高さを 280±5 mm とすること (図 3)。</p> <p data-bbox="1189 847 2159 925">テストシートに用いるシートクッションは、別表 4 の規定に基づき検定を行なうものとする。</p> <p data-bbox="1155 994 1276 1024">以下 (略)</p>